

日本橋歴史スタディ・鬼平十二番勝負・第11回（全12回）

鬼平人気の裏表

2012年11月20日 安藤優一郎

講演趣旨

池波正太郎の代表作・鬼平犯科帳の主人公長谷川平蔵の知られざる実像をお話します。

1. 鬼平の町奉行待望論

(1) 人情の厚さと機転の良さ

容疑者を連れてきた町人に蕎麦を振舞う／火事があると、先に高張提灯を現場付近に掲示／盗賊を未然に防ぐ

(2) 下情に通じる

本所の鍔の由来／放蕩生活による散財／裏社会に詳しくなる／散所言葉に通じる／岡っ引きの駆使／検挙率の良さ

(3) 今の岡殿、本所の平蔵様

江戸っ子からの親しみ／刑死者の供養／路上生活者に施し

2. 鬼平の悪評

(1) 同僚からの嫉妬

スタンドプレーと後ろ指さされる／岡っ引き多用に対する批判／評判・実績の高さが同僚や上司、町奉行所からの反発を招く

(2) 山師と呼ばれた平蔵

人足寄場建設・運営にみせた手腕／建材や墓石の転用／銭相場に手を出す／蔑視された商業行為

3. 幕府による情報収集と鬼平の冷遇

(1) 目安箱と御庭番

江戸庶民の直訴の道／役人の不正も投書可能／御庭番創設と江戸市中探索

(2) 人事評価システム

任用前に小人目付・御徒目付が身辺調査／役職就任後も所行の調査／寛政改革では老中松平定信側近が市中の情報を定信にあげる／よしの冊子の成立

(3) よしの冊子という情報源

役職者の赤裸々な評判／平蔵も度々登場／相反する評価／平蔵の苦悩も読み取れる

講師紹介

歴史家。文学博士（早稲田大学）。東京理科大学、JR東日本大人の休日倶楽部講師。著作に『徳川将軍家のブランド戦略』新人物文庫（2012年1月）。『歴史を動かした徳川十五代の妻たち』青春文庫（2012年6月）、『江戸っ子の意地』集英社新書（2012年5月）